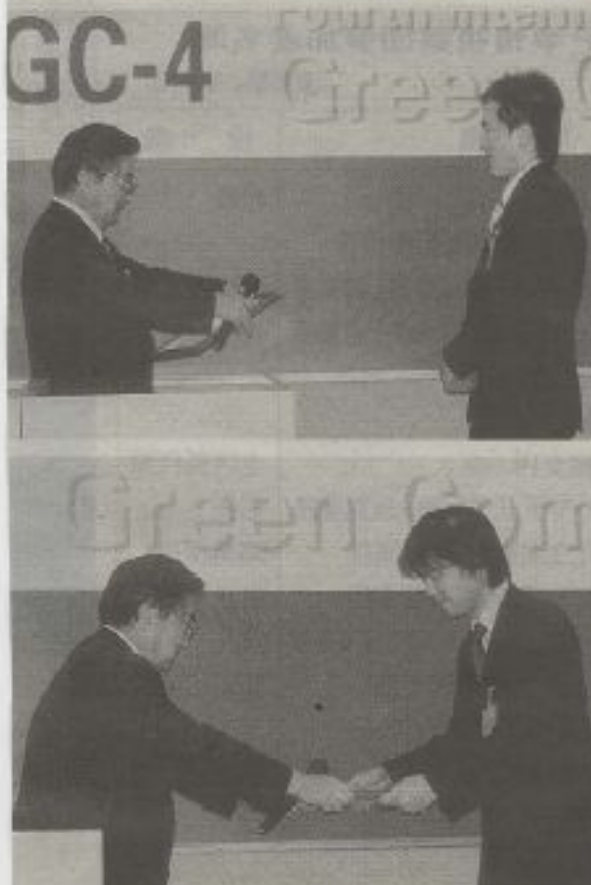




写真は「IWGC-4」の会場風景（右下は
閉会あいさつを述べる遠西一実行委員長）



七カ国から60名が参加

グリーンコンボジット GC国際ワークショップに

他日本材料学会複合材料部、技術振興財団の後援ならびに、協賛、他日本高分子学会等
門委員会が、財中部電力基礎に、他日本機械学会、日本複合の協賛を得て主催し、遠西一
技術研究所とスガウエザリシ材料学会、他強化プラスチック（氏）日本大学生産工学部教授）
催された。

が実行委員長を務める「第4
回グリーンコンボジット国際
ワークショップ」IWGC-
4は、去る九月十四日（木）と
十五日（金）の二日、JR御茶の
水駅（豊橋口）近くの日本大学理
工学部駿河台校舎1号館で開
催された。

日本を初め米国、ドイツ、
韓国、インド、ベトナム、バ
ンクレーディッシュの七カ国から
約六〇名が参加した同ワーク
ショップでは、竹・マニラア
サ・砂糖キビ・トウモロコシ
・カラムシ等の天然繊維や糊
般、リクニソ粉末、木粉等を
利用した、グリーンコンボジ
ットの研究に関する二七件の
発表と二〇件のポスターセッ

写真は遠西一実行委員長か
らベストペーパー賞の賞状
を贈られる手賀碩氏（上）
と小林直矢氏

ションの発表が行なわれた。

このうち、新進研究者を対
象とするベストペーパー賞に
は、手賀碩氏（韓国国立KU
MOH技術大学）の「天然織
維複合材の水処理による特性
改善」、小林直矢氏（首都
大学東区）の「竹繊維複合材
の成形と引張り応力変形挙動
の研究」の二件が選ばれ、十
五日の発表後に行なわれた授
賞式において遠西行委員長か
ら両氏に対して賞状と副賞賞
金が贈られた。

最後に遠西行委員長が、二
日間に及ぶ発表と討論が「参
加者の協力によって実のある
ものとなり今後のグリーンコ
ンボジットの研究発展に寄与
することを期待する。二年後
の二〇二〇年に福島で開催さ
れる「IWGC-5」で再会
しよう」という趣旨の閉会あ
いさつを行なって散会した。